

『盲ろう者向け支援機器の開発に期待すること』(2022年12月15日)
全国盲ろう者団体連絡協議会、副会長 藤鹿一之

1、盲ろう者って どんな人？

盲ろう者とは、視覚と聴覚の両方に障害のある人のことで、
少し見えて、少し聞こえる『弱視・難聴』から、
全く見えず、全く聞こえない『全盲ろう』まで、
障害の程度は盲ろう者によって異なります。

また、コミュニケーション手段も、触手話、弱視手話、
指点字、手書き文字、音声、文字筆記等、
障害の程度や受障期によって様々です。

2012年に行った実態調査によると、全国に1万4千人ほど居るといわれています。

2、盲ろう者の3大困難。

- ・コミュニケーションの困難。
- ・情報入手(社会的情報、身の周りの情報)困難。
- ・単独での移動の困難。

3、盲ろう者の情報機器の活用法

・少し資料の残っている盲ろう者はパソコンやスマートフォンの
画面拡大機能等を活用して利用。

・少し聴力の残っている盲ろう者はパソコンやスマートフォンの
音声 読み上げ機能を活用して利用。

・全盲ろうの盲ろう者はパソコンやスマートフォンに
点字ディスプレイを繋げて利用。

4、盲ろう者が使える体温計の必要性。

コロナ禍で体温を測る必要がある機会が増えてきました。
しかし、特に全盲ろうの盲ろう者が独力で体温を確認することは
非常に難しいです。

多くの盲ろう者が独力で体温の確認ができる
『振動式の体温計』が必要です。

体温計にとどまらず、誰もが使えるユニバーサルデザインの
機器の開発をしていただけることを願っています。